

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人高柳福祉会 陽だまり					公表日	R7年 4月 21日	
						利用児童数	8名	
							回収数 8名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1		陽だまりの活動プログラムが保護者の方に明確に伝わるよう、周知方法を工夫致します
保護者へ の説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1		3		近所の地域の公園などに出掛けた時には、地域の子ども達と一緒に遊ぶ姿があります
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	8					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					
	20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8					
非常時 等の 対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					
満足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1		ケガなどの発生状況など今まで以上に丁寧に説明していきたいと思ひます
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8				通所日を楽しみにしています。特にイベントや遠足日はとても喜んで楽しそうに帰ってきます	これからも、利用者の子ども達にとって通所が楽しみとなるような事業所でありたいと思ひます
	29	事業所の支援に満足していますか。	8			いつも悩み事、困り事を聞いて頂き、アドバイスしてもらえるので助かっております	そのように思っけて頂きありがとうございます。利用者ご本人はもちろんだこと、ご家族にも安心感を持って利用して頂ける事業所を目指していきます	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人高柳福祉会 隔だまり		公表日	R7 年 4 月 21 日	
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	5	部屋を分けて過ごす工夫をしている		
	2	5	最低人員を超えて、職員を配置しています		
	3	5		建物の構造上、バリアフリー化になっていない部分があります	
	4	5			
	5	5	1人の方が落ち着いて行動ができる子の場合、別室で静かに指導員と1対1で作業をする環境になっているか。		
業務改善	6	5	パート職員も含め、話をする時間を設けています		
	7	5	全職員が保護者向け評価表に目を通しています		
	8	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	職員の意見が言いやすい職場の雰囲気大切にしています	
	9	3	2		必要に応じて第三者評価を前向きに検討していきます
	10	5		パート職員も含め、全職員が就業中に研修を受講する体制を整えている	
適切な支援の提供	11	5		ホームページにて公表しています	
	12	5			
	13	5		パート職員も含め、全職員参加をして個別支援会議を行っています	
	14	5		職員が勤務中いつでも個々の利用者についての個別支援計画を見られる状態にしています	
	15	4	1		標準化されたツールは用いていないので、今後の使用を検討します
	16	5		わかりやすく、具体的な支援内容の記載を心掛けています	
	17	5		季節の製作など話合っている	
	18	5		他の職員が考えている活動プログラム予定を把握し、被らないよう活動プログラムを考えている	
	19	5			
	20	5			
	21	5		小さなことでも振り返り時に各職員間で共有し、次の支援に生かせるようにしています	
	22	5			
	23	5			
	24	5			
	25	5		自己決定権を意識した支援を職員全員が共通で意識しています	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		毎月、連絡調整を各学校と行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		保護者の方のご協力の下、引き継ぎをする時間を設けています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		放課後等デイサービスを卒業する年齢の利用者はまだいません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	寝屋川市の機関事業所主催の研修などには積極的に参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		放課後、地域の公園に出掛け、地域の子ども達と交流できる環境を整えています	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		今後、参加に向けて検討していきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		保護者ノートやお迎え時、今日の様子を細かく話す	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		参観の場を設け、ご家族に対し支援方法などについて具体的に見て頂く機会を設けています	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		いつでも相談に応じる体制を整えています（電話・面談）	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者交流会を定期的に行っています。また、その時にきょうだい児も招き保護者とは別の場所で交流する場を設けています	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的な隔だまりだよりの発行、インスタグラムへの投稿を通して発信しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		法人として夏祭り行い、地域の方にも来て頂いています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルを想定し、年間計画を制定しています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		想定を変え、年2回以上避難訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		保護者交流会時に毎年確認しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		ヒヤリハット報告書を記入し、必ず全体会議を行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		パート職員も含めた全職員研修を受けています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人高柳福祉会 陽だまり		
○保護者評価実施期間	R7年3月24日	～	R7年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	R7年3月21日	～	R7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月7日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日の利用者人数に対し職員の数が多いので、きめ細やかで丁寧な支援ができる環境にある	その日の子どもの状態により、1対1の支援を行っている	職員一人ひとりのスキルアップをはかっていく
2	同法人である隣接している認定こども園太陽保育園の施設を使用することができる(園庭、ホール、プールなど)	少しの隙間時間でも気分転換に園庭に出掛けて身体を動かすことをしている	引き続き、子ども園と連携を取りながら施設を使用してより良い支援に繋いでいく
3	ワンフロアではなく、部屋が1階、2階に分かれている	その日の活動内容や利用人数により部屋を分けて使用し落ち着いて過ごせる環境を確保するようにしている	活動場所の違いによる利用者の子どもの不利益が生まれないようにしていく必要がある
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員が女性であること	利用者の子どもの年齢が上がってきているので、今後同性介助の必要性を感じている	男性職員の雇用も視野に入れていく
2	ワンフロアではなく1階と2階に分かれている	部屋が分かれていることは、強みでもあり弱みでもあっていると感じている。落ち着いた環境のために部屋を分けるということはそれだけ職員の数が必要になるが、今後も現在の職員数を維持していけるかが課題	職員の継続的、持続的な雇用のための、より良い職場環境の整備
3	集団活動時のプログラム選択	集団活動として企画するプログラムが低年齢向けの傾向がある	利用子どもの学年差も出てきているので全員が全く同じ集団活動プログラムではなく、部屋を別にして少しアレンジを加えたりする等の工夫をしていく

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人高柳福祉会 陽だまり	公表日	R7年 4月21日	利用児童数	6	回収数	4
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4				最低人員を超えて職員を配置しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4			とても過ごしやすい環境の中での遊び活動できたと思います	そのように感じて頂いてありがとうございます。今後も引き続き清潔で心地の良い環境を提供していきます
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4				今後も支援プログラムに沿いつつ、それぞれ利用者の子どもの合った支援をしていきます
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				こども本人や保護者のニーズをキャッチし、個別支援計画に反映させていきます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				具体的な支援内容を設定し、よりわかりやすい言葉で個別支援計画に反映させていきます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				子ども達が楽しいと思えるような活動プログラムを全職員でアイデアを出し合いながら今後も考えていきます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1	同じ学年のお友達と一緒に活動でき、とても良かったです	隣接する法人の認定こども園太陽保育園との交流を積極的にしていきます
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4			毎回、丁寧に説明してもらいました	今後も保護者の方に安心して利用して頂けるように、丁寧に説明します
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	2		2		今後保護者同士の関わりの場を設けると同時に情報提供の機会も提供していくように努めます
保護者 への 説明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4			毎回ノートにその日の活動内容を丁寧に書いてもらっていました	個別ノート及び送迎時に保護者の方との話を行うことで子どもの様子を共有しています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				保護者の方に定期的に事業所に来所して頂き、面談を通して悩みを聞いたり、助言をさせて頂いています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4			とても共感してもらっていました	今後もそのように思って頂けるよう、職員一同支援していきます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。		1		3	タイムミングが含む、参加できませんでしたが、なるべく全保護者の方が参加しやすいよう、日程調整の工夫や魅力的なイベントの企画も考えていきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			色々と相談に乗ってもらいました	今後も気軽に話（相談）が出来る雰囲気をも大切にしていきます
	20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3			1	保護者皆様は事業所活動内容を知って頂けるよう、努めます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1	それぞれマニュアルは制定されたおりますが、保護者への周知説明の方法を工夫します
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			3	避難訓練は定期的に想定を変えながら行っています
非常 時 等 の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1	小さなケガであってもなるべく状況を説明し、報告するように努めています
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4			とてもそう思います	引き続きこどもも保護者も安心感を持って通所して頂けるようにしていきます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			朝、行く時にぐずることがあっても帰ってきたら「楽しかった」と言っていました	「楽しかった」「また行きたい」とこども自身が思ってもらえる活動を今後も行っていきます
満足 度	29	事業所の支援に満足していますか。	4			とても満足しています	今後も引き続き支援に満足して頂けるよう努めていきます
			4				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人高柳福祉会 陽だまり		公表日	令和7年 4月 21日	
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	5	0	十分なスペースを確保している	
	2	5	0	最低人員以上の職員を配置しています	
	3	4	1		建物の構造上バリアフリー化にはなっていない
	4	5	0		
	5	5	0	主な活動の場所の他に個別の部屋やスペースが3か所ある	
業務改善	6	5	0	パート職員も含め話をする場を設けている	
	7	5	0	全職員が保護者向け評価表に目を通していません	
	8	5	0	職員の意見が言いやすい場の雰囲気大切にしています	
	9	3	2		必要に応じて第三者評価を前向きに検討していきます
	10	5	0	パート職員も含め全職員が就業時間中に研修を受講する体制を整えている	
適切な支援の提供	11	5	0	ホームページにて公表しています	
	12	5	0		
	13	5	0	パート職員も含め、全職員参加をして個別支援会議を行っています	
	14	5	0	職員がいつでも個々の利用者についての個別支援計画を見られる状態にしています	
	15	4	1		標準化されたツールは用いていないので、今後使用の検討をします
	16	5	0	わかりやすく、具体的な支援内容の記載を心掛けています	
	17	5	0		
	18	5	0	リーダーを各職員でローテーションを組んで決めており、リーダーを中心に活動プログラムを決めています	
	19	5	0		
	20	5	0		
21	5	0	小さなことでも各職員間で振り返り時に共有し、次の支援に生かせるようにしています		
22	5	0			
23	5	0			
24	5	0			
25	5	0			
26	5	0	保護者の方のご協力の下、各認定子ども園や幼稚園とその子の姿について共有するために定期的に会議を開いています		

関係機関 や保護者との 連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	入学後各学校へ向いて、話をする時間を作ってもらっています		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	寝屋川市の機関事業所主催の研修などには積極的に参加している		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	隣に同法人の認定こども園があるので、交流は比較的多く行っています。また地域の公園等にも出掛けるのでそこで地域の子ども達と交流することもあります		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡ノートでのやり取りは具体的な内容を丁寧に書くようにしています		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	参観の場を設け、ご家族に対し支援方法などについて具体的にみて頂く機会を設けています		
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0			
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0			
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		今後きょうだい同士の交流の場を設けることを検討していきます	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0			
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0			
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0			
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0			
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				法人として夏祭りを行っており、地域の方にも来て頂いています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		各マニュアルを策定し、想定を変え年2回以上の避難訓練を行っています	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		面接時に確認をしています	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		ヒヤリハット報告書記入し、必ず全体会議を行っています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		パート職員も含めた全職員研修を受けています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人高柳福祉会 陽だまり		
○保護者評価実施期間	R7年3月17日	～	R7年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	R7年3月24日	～	R7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月7日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人の認定こども園太陽保育園の園児と関わりを持つ機会が多くある	同年齢クラスの園児が園庭で遊んでいる時間帯に出ていき、交流が持てるようにしている	園庭遊びだけではなく、状況により保育室での集団活動での経験が出来るような取り組みを考えていきたい
2	ほぼ1対1の対応で、子どものその時の状態に応じて支援している	多機能型の事業所であるが、午前中に児童発達支援を行い、放課後等デイサービスとは時間帯を分けている	引き続き、落ち着いた環境の下、丁寧な関わりを重視していく
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や幼稚園への送迎を行っていない	児童発達支援と放課後等デイサービスを時間帯を分けている(強みでもあり弱みでもあると感じている)	午前中に療育を終えてから受け入れをしてもらえるよう保育園や幼稚園に理解を得られるような信頼関係を築く
2			
3			